

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第77期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	花月園観光株式会社
【英訳名】	KAGETSUENKANKO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松尾 嘉之輔
【本店の所在の場所】	横浜市中区桜木町三丁目7番2号
【電話番号】	045（228）8860
【事務連絡者氏名】	総務部長 堤 道雄
【最寄りの連絡場所】	横浜市中区桜木町三丁目7番2号
【電話番号】	045（228）8860
【事務連絡者氏名】	総務部長 堤 道雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第76期 第2四半期 累計期間	第77期 第2四半期 累計期間	第76期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	150,616	173,495	303,800
経常利益（千円）	1,178	14,467	22,626
四半期（当期）純利益（千円）	78,084	48,347	140,818
持分法を適用した場合の投資利益 （千円）	—	—	—
資本金（千円）	883,300	883,300	883,300
発行済株式総数（千株）	17,666	17,666	17,666
純資産額（千円）	739,210	859,085	809,873
総資産額（千円）	1,326,147	1,394,485	1,366,893
1株当たり四半期（当期）純利益金額 （円）	4.44	2.75	8.01
潜在株式調整後1株当たり四半期（当 期）純利益金額（円）	—	—	—
1株当たり配当額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	55.7	61.6	59.2
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	5,572	34,327	98,541
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	29,450	△20,510	△45,445
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△26,993	△5,559	△59,981
現金及び現金同等物の四半期末（期末） 残高（千円）	109,550	102,895	94,637

回次	第76期 第2四半期 会計期間	第77期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	4.54	0.72

- （注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
- 3．売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」から重要な変更があった事項は以下のとおりであります。

当社は、福島第一原子力発電所事故の影響により、営業再開を果たせずにいたサテライトかしまの営業を6月6日より再開し、順調に推移いたしております。

このため前事業年度の有価証券報告書に記載した「(1)被災したサテライトかしまの運営に関するリスク」は消滅しております。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀一体となった財政・金融政策により円安・株高が進行し、企業収益は改善に向かっておりますが、一方で、電気料金の値上げ、消費税の増税などの懸念材料もあり、先行きについては依然不透明な状況にあります。

当社が事業の主体をおく競輪業界におきましても、4月以降の車券売上高の減少は歯止めがかからず、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、福島第一原子力発電所事故の影響により、営業再開を果たせずにいた当社の主力事業所であるサテライトかしまの営業を6月6日より再開いたしました。営業再開につきましては、従来のような実績が残せるか不安もありましたが、9月までの営業に関しては順調に推移いたしております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1億7千3百万円(前年同四半期 売上高1億5千万円)となりました。営業利益は1千3百万円(前年同四半期 営業損失1百万円)、経常利益は1千4百万円(前年同四半期 経常利益1百万円)、四半期純利益は東京電力株式会社からの受取補償金があり4千8百万円(前年同四半期 四半期純利益7千8百万円)となりました。

なお、当社は、競輪関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間においては、税引前四半期純利益を5千万円計上いたしました。また、短期貸付の回収を1千5百万円、長期借入による収入を3千万円、資金支出の伴わない減価償却費1千万円等により第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物は、1億2百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は3千4百万円となりました。当第2四半期累計期間は東京電力株式会社からの補償金3千6百万円等があり、税引前四半期純利益を5千万円計上し、資金支出の伴わない減価償却費1千万円がありましたが、売上債権の増加が2千4百万円あったこと等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は2千万円となりました。これは主に、短期貸付金の回収が1千5百万円ありましたが、短期貸付けによる支出が3千5百万円あったことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は5百万円となりました。長期借入による収入が3千万円ありましたが、長期借入金の返済による支出2千万円、リース債務の返済による支出が1千4百万円あったこと等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数（株） （平成25年9月30日）	提出日現在発行数（株） （平成25年11月14日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,666,000	17,666,000	東京証券取引所市場第二部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	17,666,000	17,666,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 （株）	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増減額 （千円）	資本準備金残高 （千円）
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	17,666,000	—	883,300	—	399,649

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社東京ドーム	東京都文京区後楽1-3-61	4,198	23.77
株式会社松尾工務店	横浜市鶴見区鶴見中央4-38-35	3,544	20.07
神奈川県	横浜市中区日本大通 1	1,296	7.34
横浜市	横浜市中区港町1-1	966	5.47
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・京浜 急行電鉄株式会社退職給付信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	812	4.60
株式会社横浜銀行	横浜市西区みなとみらい3-1-1	624	3.54
横須賀市	神奈川県横須賀市小川町11	555	3.15
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	216	1.22
松戸公産株式会社	千葉県松戸市上本郷594	150	0.85
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4-12-3	142	0.80
計	—	12,507	70.80

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 81,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 17,444,000	17,444	—
単元未満株式	普通株式 141,000	—	—
発行済株式総数	17,666,000	—	—
総株主の議決権	—	17,444	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
花月園観光株式会社	横浜市中区桜木町三丁目 7番2号	81,000	—	81,000	0.46
計	—	81,000	—	81,000	0.46

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,637	102,895
売掛金	47,930	72,809
短期貸付金	145,000	165,000
未収入金	49,192	39,277
立替金	27,841	20,239
その他	1,696	3,154
流動資産合計	366,297	403,377
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	347,642	339,743
構築物（純額）	20,471	19,771
機械及び装置（純額）	574	486
車両運搬具（純額）	38	38
工具、器具及び備品（純額）	4,368	3,483
土地	443,206	443,206
有形固定資産合計	816,301	806,729
無形固定資産	11,609	10,460
投資その他の資産	172,684	173,918
固定資産合計	1,000,596	991,108
資産合計	1,366,893	1,394,485

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	36,000	46,200
リース債務	29,840	29,840
未払金	14,694	23,725
未払法人税等	10,329	4,623
未払消費税等	2,195	3,726
前受金	181	—
預り金	25,236	19,524
流動負債合計	118,478	127,639
固定負債		
長期借入金	184,000	183,250
リース債務	39,787	24,867
繰延税金負債	22,117	22,637
退職給付引当金	38,546	24,998
負ののれん	19,090	17,007
長期預り金	130,000	130,000
その他	5,000	5,000
固定負債合計	438,541	407,760
負債合計	557,020	535,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	△475,583	△427,236
自己株式	△9,956	△10,045
株主資本合計	797,409	845,668
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,464	13,417
評価・換算差額等合計	12,464	13,417
純資産合計	809,873	859,085
負債純資産合計	1,366,893	1,394,485

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	150,616	173,495
売上原価	28,799	26,574
売上総利益	121,817	146,920
販売費及び一般管理費	※1 123,154	※1 132,985
営業利益又は営業損失(△)	△1,336	13,935
営業外収益		
受取利息	3,697	2,935
受取配当金	591	671
負ののれん償却額	2,082	2,082
助成金収入	1,609	283
雑収入	820	240
営業外収益合計	8,801	6,213
営業外費用		
支払利息	6,035	5,431
その他	249	249
営業外費用合計	6,285	5,681
経常利益	1,178	14,467
特別利益		
受取補償金	※2 78,458	※2 36,444
特別利益合計	78,458	36,444
特別損失		
固定資産除却損	32	—
特別損失合計	32	—
税引前四半期純利益	79,604	50,912
法人税、住民税及び事業税	1,520	2,564
法人税等合計	1,520	2,564
四半期純利益	78,084	48,347

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	79,604	50,912
減価償却費	10,026	10,354
固定資産除却損	32	—
のれん償却額	1,116	1,116
負ののれん償却額	△2,082	△2,082
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,084	△13,548
受取利息及び受取配当金	△4,288	△3,606
支払利息	6,035	5,431
受取補償金	△78,458	△36,444
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,656	△24,879
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,037	1,530
預り金の増減額 (△は減少)	△17,273	△5,712
その他	△15,850	24,574
小計	△29,915	7,646
利息及び配当金の受取額	5,348	3,512
利息の支払額	△6,119	△5,468
補償金の受取額	39,298	36,444
法人税等の支払額	△3,040	△7,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,572	34,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付けによる支出	—	△35,000
短期貸付金の回収による収入	—	15,000
長期貸付金の回収による収入	30,000	—
有形固定資産の取得による支出	△550	△500
差入保証金の差入による支出	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,450	△20,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	30,000
長期借入金の返済による支出	△12,000	△20,550
リース債務の返済による支出	△14,920	△14,920
自己株式の取得による支出	△73	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,993	△5,559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,028	8,258
現金及び現金同等物の期首残高	101,521	94,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 109,550	※ 102,895

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

保証債務

次の関係会社のリース債務に対し、債務保証を行っております。

債務保証

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
(株)シティーリゾート	185,193千円	171,806千円

(四半期損益計算書関係)

※1.販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給与及び手当	56,325千円	56,314千円

※2.受取補償金の内容

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
サテライトかしまに関する東京電力(株) からの営業損害補償金	78,458千円	36,444千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	109,550千円	102,895千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	109,550千円	102,895千円

(持分法損益等)

関連会社につきましては、損益等からみて重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、競輪関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円44銭	2円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	78,084	48,347
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	78,084	48,347
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,586	17,584

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

花月園観光株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 磯貝 和敏 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野島 透 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている花月園観光株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第77期事業年度の第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、花月園観光株式会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。